

卒業生の就職先からの意見聴取
調査アンケート報告書

令和4年9月

キャリアセンター事務部　キャリア形成支援課

目 次

1. 卒業生の就職先からの意見聴取調査アンケート実施概要.....	1
2. アンケートの目的	1
3. 卒業生の就職先から評価された卒業生の属性.....	1
4. アンケートの分析	2
4.1 アンケートについて	2
4.2 アンケート結果の分析.....	2
5. 総評	8

1. 卒業生の就職先からの意見聴取調査アンケート実施概要

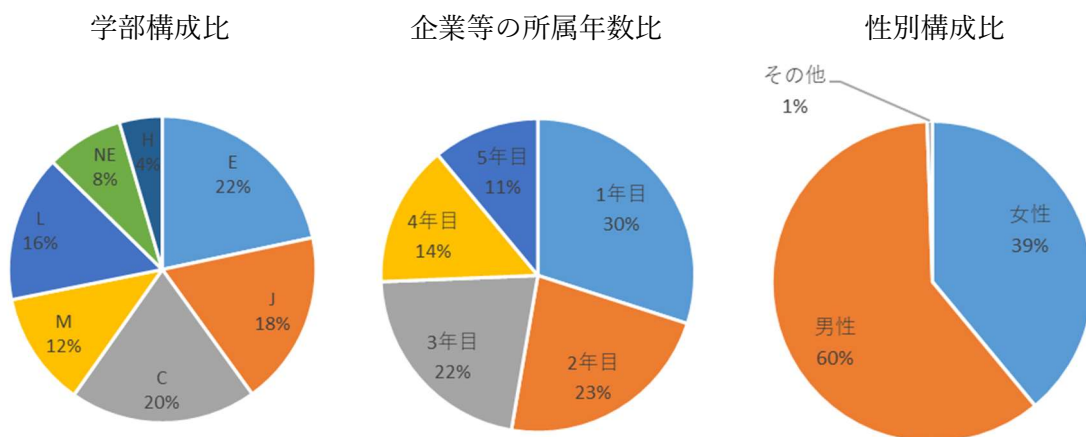
- ・調査時期：2022年7月30日～2022年8月31日
- ・対象者：2018年3月卒～2022年3月卒の本学学部卒業生の就職実績がある72,463企業・団体のうち、本学がメールアドレスを把握している2,849企業・団体（※公務員、教員、自営は除く）
- ・集計結果：417企業・団体から554人

2. アンケートの目的

卒業生が在学中にキャリアデザイン基礎力をどの程度身につけて卒業したのか、学生の卒業後の就職状況等から、教育の成果や効果について明らかにする。本調査で得られた結果については、本学のキャリア教育の改善のほか、限られた情報とすることはなく、大学ホームページや学外への発表を通じて広く周知することとする。

3. 卒業生の就職先から評価された卒業生の属性

学部構成比は、「経済学部」が22%、「法学部」が18%、「商学部」が20%、「経営学部」が12%、「文学部」が16%、「ネットワーク情報学部」が8%、「人間科学部」が4%であり、この構成比は各学部の入学定員（つまり卒業生数）と関係がある可能性が高い。企業等の所属年数比は、「1年目」が30%、「2年目」が23%、「3年目」が22%、「4年目」が14%、「5年目」が11%となっており、「3年目以下」が75%以上を占めた。この構成比は、新規大卒就職者は3年で約3割が離職していくこと等が関係している可能性がある。性別構成比は、「女性」が約39%、「男性」が約60%、「その他」が約1%であり、各学部の学生の男女比と関係がある可能性が高い。



卒業生の就職先からの意見聴取調査アンケート集計結果

	1年目				2年目				3年目				4年目				5年目				総計
	女	男	他	計	女	男	他	計	女	男	他	計	女	男	他	計	女	男	他	計	
E	17	25	0	42	3	25	0	28	5	19	0	24	2	12	0	14	3	9	0	12	120
J	7	21	0	28	6	18	0	24	10	12	0	22	5	8	1	14	3	11	0	14	102
C	11	17	0	28	6	20	0	26	10	13	0	23	10	10	0	20	4	8	0	12	109
M	14	15	0	29	1	9	0	10	6	9	0	15	0	6	1	7	3	3	0	6	67
L	11	11	1	23	16	7	0	23	15	5	0	20	8	7	0	15	3	2	0	5	86
NE	4	5	0	9	2	9	0	11	6	7	0	13	2	3	0	5	3	4	0	7	45
H	4	3	0	7	4	0	0	4	3	0	0	3	6	0	0	6	3	2	0	5	25
総計	68	97	1	166	38	88	0	126	55	65	0	120	33	46	2	81	22	39	0	61	554

4. アンケートの分析

4. 1 アンケートについて

アンケートは、回答しやすさを考慮し、項目毎に評価を選択肢から選択する方式としている。肯定側に「身についていた」と「やや身についていた」、否定側に「あまり身についていなかった」と「身についていなかった」で構成される。

4. 2 アンケート結果の分析

アンケートの各選択項目の回答結果において、肯定的・否定的な回答の割合を集計した結果を表1に示す。特徴的な結果として「リーダーシップ・フォロワーシップ（チーム状況を見て、リーダー・フォロワーシップを発揮する）」項目の回答結果において、企業等の卒業生に対する評価は否定的な評価が20%に上り、12の能力要素で否定的な回答の割合がもっとも高かった。

表1 各選択項目の回答結果における肯定的・否定的回答の割合

6領域	12の能力要素(設問)	回答割合	
		肯定的	否定的
1.学習力	1, 幅広い好奇心（好き嫌いに関係なく、様々なものに関心を持つ）	93%	7%
	2, 知識を深める力（複数の情報を集めて、継続的に学習する）	94%	6%
2.意思疎通力	3, 発信力・プレゼン力（メッセージを明確にして、わかりやすく伝える）	87%	13%
	4, ディスカッション力（質問を適宜行いながら、その場の議論を深める）	86%	14%
3.論理思考力	5, 多様な思考力（課題に対して複数のアプローチ方法で考える）	87%	13%
	6, 深い理解力（課題に対して学んだことを適用・応用して考える）	91%	9%
4.挑戦力	7, 決断力・行動力（やるべきことを決めて、主体的に行動する）	89%	11%
	8, メンタルタフネス（冷静に自分を見つめ、感情をコントロールする）	90%	10%
5.人間関係構築力	9, リーダーシップ・フォロワーシップ（チーム状況を見て、リーダー・フォロワーシップを発揮する）	80%	20%
	10, 信頼関係構築力（互いの違いを尊重しつつ、信頼関係を築く）	95%	5%
6.問題解決力	11, 問題発見力（改善点を見つけ、取り組むべき課題を設定する）	89%	11%
	12, 解決策の実行力（目標、期日、方法を明確にして行動する）	91%	9%

(n=551)

※性別の回答項目「その他」については、母数(n=3)が小さかったため集計から除外した。

5. 総評

卒業生の就職先からの本学卒業生の評価として、キャリアデザイン基礎力6領域のうち「学習力（「幅広い好奇心」「知識を深める力）」は他のキャリアデザイン基礎力6領域のうち肯定的な回答が最も多かった。これは、「学習力」を重点的に育成している「キャリア入門」の教育効果が発揮されている可能性がある。一方でキャリアデザイン基礎力の12の能力要素毎で回答結果を見た場合「リーダーシップ・フォローシップ（チーム状況を見て、リーダー・フォローシップを発揮する）」等、評価が著しく低い項目がある。これは、2～4年次のキャリア教育が十分浸透していない可能性があり、今後、さらに検証を進めていくとともに、その結果を教育活動等の改善に反映させていくことが肝要であると考えられる。